

3つのミッション
No.3

防犯・交通安全

5年後の
めざす姿

防犯、交通安全意識の
高いまちになっています。

安全で安心な暮らしを守るためには、一人ひとりが犯罪や事故に遭わない行動をとるだけでなく、地域の見守りや支え合いによる防犯・交通安全力の向上が必要です。



11 住み続けられるまちづくりを

SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。17のゴール・169のターゲットで構成されています。市でも「誰一人取り残さない」まちづくりを進めていきます。

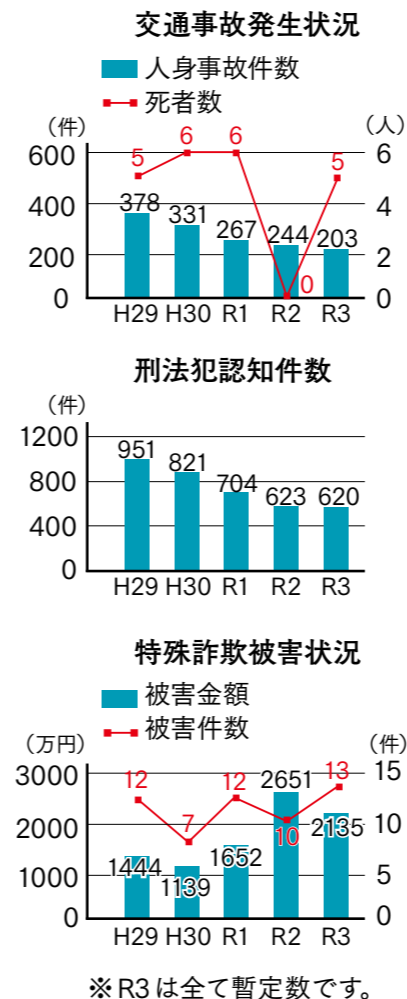


防犯パトロールで啓発グッズを配布しています。

市内の犯罪と交通事故情報

市内の刑法犯認知件数および交通事故件数は減少傾向にありますが、子ども・女性・高齢者が被害者となる犯罪への不安は依然として解消されていません。中でも、還付金詐欺やキャッシュカードをだまし取る詐欺は後

を絶たず、手口も巧妙化しています。市内では、昨年に13件、総額約2100万円の特許詐欺被害が発生しています。「自分は絶対に大丈夫」と思わず、危機意識を強く持ち、被害に遭わない、遭わせない取り組みが求められています。



誰もが安心して暮らせるために

自治会や学校、事業者、警察、行政など地域ぐるみで防犯活動に取り組むことが大切です。

交通安全啓発活動

市、警察、関係機関で組織する「桑名地区交通安全対策会議」では、交通安全の啓発活動を進めています。
昨年は、四季の交通安全運動期間に啓発動画を作成し、市内の店舗や金融機関などで放映したほか、ケーブルテレビでの放送やYouTubeの配信による広報啓発に努めました。



交通安全啓発動画撮影シーン



市公式YouTube

特殊詐欺被害防止啓発活動

市、桑名地域生活安全協会などが連携し、特殊詐欺被害に遭いやすい高齢者を対象に、防犯講話の開催や啓発物品を配布して、広報啓発活動を進めています。

防犯活動

市内で活動する防犯団体を一部紹介します

1 精義安全パトロール隊

精義小学校・PTA・ボランティアを中心とする子どもの見守りと交通事故防止活動、自治会・介護施設などとの連携による地域の安全安心まちづくり活動を行っています。

2 松ノ木地区防犯パトロール

青色パトによる防犯パトロールを毎日実施しています。登下校時や朝夕の散歩時のパトロール、不審者や不審車両の地域内侵入、子どもへの声かけといった犯罪防止に努めています。

3 日進地区防犯委員会

「地域の安全は地域で守る」という意識のもと、登下校中の子どもの見守りや、授業中も校舎内や学校周辺をパトロールして、不審者警戒に力を入れています。定期的に広報紙を作成し、防犯意識の向上を図っています。

4 野田地区見守り隊

「散歩・ジョギング・買い物などの外出時に防犯グッズを身につける」「あいさつ・声かけを行う」などの啓発、生活リズムに合わせたパトロールや見守り活動に積極的です。空き巣・特殊詐欺被害防止のため、のぼり旗やポスターの設置をしたり、学校と連携した交通事故・不審者対策を行ったりしています。



1 精義安全パトロール隊ののぼり啓発 2 松ノ木地区の青パト 3 日進地区の防犯カメラ設置 4 野田地区の見守り隊

防犯・交通安全

一人ひとりの心がけて、安全・安心なまちにしていけます。

- 犯罪情報の共有、地域防犯体制の充実
- 交通危険箇所 の改善、交通安全施設の充実

5年後のめざす姿



- 地域が連携して防犯に取り組むまち
- 交通マナーやルールが守られ、安全な交通環境の整備されたまち



指標

刑法犯の認知件数

身近で発生する
犯罪の減少 5年後減少へ

令和3年
620件



市民が取り組みます!



- 「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識をもって、地域の絆で、犯罪のない安全で安心して暮らせる環境づくりに取り組みましょう。
- 交通安全意識を高め、交通ルールやマナーを守りましょう。

市が取り組みます!



- 市民と行政が一体となった防犯体制の構築を行います。
- 参加・体験・実践型の講習を拡充し、効果的な交通安全教育を進めることで市民の交通安全意識を高めていきます。

市民編集員の
「これ聞きたい」

黒木さん (30代 女性)

Q 子どもが自転車に乗り始めて、事故が心配です。注意することはありますか。

A 小学生の交通事故の特徴として、①交差点での出会い頭事故②ヘルメット非着用③安全不確認が多いです。子どもには次のことを注意してあげましょう。

- 「一度止まって」安全確認
交差点や見通しの悪いところでは、一度止まり、歩行者や車が来ていないことをしっかりと確認しましょう!
- ヘルメットで大切な頭を守ろう
交通事故や自転車で転倒し頭を強打すれば、命に関わります。必ずヘルメットを着用し、あご紐を締めましょう!

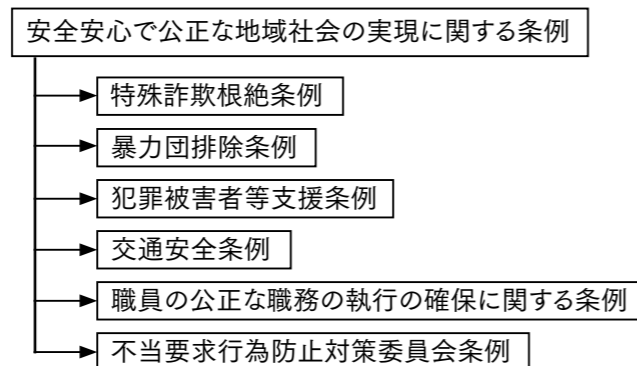
昨年10月から自転車損害賠償責任保険などへの加入が義務化されました。お子さんが自転車に乗る時も必ず保険に加入しましょう。

現在

過去

条例の制定や体制の見直しで安全安心なまちへ

○「桑名市安全安心で公正な地域社会の実現に関する条例」を制定し、市民の安全安心と公正にかかる条例の基本条例と位置づけました。



○「桑名市安全安心推進協議会」の体制を見直し、より強固な協力連携体制の構築しました。

犯罪や事故の状況

- 刑法犯認知件数は減少傾向を維持しているものの、子どもや女性が被害となる犯罪が依然発生している。
- 高齢者が被害に遭いやすい特殊詐欺が後を絶たない。
- 死亡事故件数、人身事故件数は減少傾向にあるものの、総事故件数を大幅に減少させるに至っておらず、自転車事故も後を絶たない。

この記事に関するお問い合わせは、秘書広報課へ (☎ 24-1492 FAX 24-1119)



昨年、藤が丘小学校のパトロールを警察や関係機関と一緒に行いました。

今月の特集は「防犯・交通安全」です。市民満足度調査の結果からも、市民の皆さんにとって重要な分野であることから、総合計画の中でも、3つのミッションの一つとして、重点的に取り組んでいる項目です。

この特集でも取り上げていますが、実際、桑名市の犯罪件数や交通事故件数は年々減少しています。これは、桑名地域生活安全協会や桑名地区交通安全協会、警察・事業者などさまざまな関係機関が連携して防犯活動、

交通安全活動に取り組んできたためであり、心から感謝申し上げます。とはいえ市民の皆さんの実感として、最近治安が良くなった、とは感じにくいのではないのでしょうか。凶悪な犯罪や悲惨な事故が繰り返し報道されたり、新たな形態の犯罪が発生したりすることなどで、不安な気持ちが増幅され、いわゆる「体感治安」が向上しない、という面もあると思います。

大切なのは「正しく恐れる」ということです。事件や事故が減少しているからといって、油断してはいけません。今、どんな事件や事故が増えていくのか現状を把握して、正しく恐れて、対策を行うことが重要です。

交通安全活動に取り組んできています。しかし夕方の外出を一切やめるといったのは恐れすぎです。運転者から見えやすくするために、目立つ色の服を着る、反射材を身につける、といった具体的に実施できる対策をとっていただければと思います。

また、近年社会問題となっている「特殊詐欺」です。オレオレ詐欺や架空請求詐欺、還付金詐欺などのいわゆる「振り込め詐欺」も手口が巧妙化していますが、生活安全協会は、最新の手口などを把握しております。対策を考えるためにも、お気軽にご相談ください。

これからの関係機関と連携しながら、安全安心なまちづくりを推進してまいります。

市長とみんなのネクストビジョン



3つのミッション No.3 防犯・交通安全